夕刊
磐城新聞
一月十九日發行
定價一ヶ月金六拾五錢
（日曜祭日翌日休刊）

農村復興に就て

磐南中堅農民學校長
貴族院議員　金成通

（承前）目下農林省に於て自力更生の方法として産業組合を中心とし之れが實現をはからんとしてゐる、誠に機宜に適したる施設なれど、これが成否は一にかゝつて組合精神の如何に存する。精神を發はずして徒らに數を增し、形を整へるは國民を驅つて失敗に導き再び之れを計劃し能はざらしめる恐れがある。

精神の作興は教育に依つてのみ實現し得る。本校玆に見るあり、實習の第二の着眼として農産物の加工及び販賣をなす組合精神を涵養せんがためである。デンマークの今日あるは一に繫つて組合にある。組合主義に依り、現代資本主義に對抗し、奪はれたる家庭工業の利益を共同組合の事業に依りて農村に奪還し、金融の圓滑をはかり共同販賣によりて收入の增加と支出の減少をはかる、斯くて農村の振興期して待つべきものあると思ふ。

一般の學校に於いては生徒が卒業すれば年と共に學校との關係が薄れ行く、卒業生の大量生産と粗製濫造とは遂に敎育亡國のそしりを蒙りつゝある。本校卒業生は之れに反し終生學校を離れる事が出來ぬであらう學校は最後まで彼等の活動と共働する、彼れ等の卒業は此の意味に於て眞の生活指導の出發點である、是に於て初めて眞の組合主義の徹底を見得る事と思ふ。

本校は時として地方産業に關係する重要なる人物十八名を招聘して、各自專門的立場からの指導を乞ふてある、現今に於ける農村指導者は各々割據的の立場に立ち各自各樣の意見により働きつゝあるが故に徃々にして不統一のそしりを受けつゝあるの現狀にあるがこゝに於て渾然一体となり眞に地方開發の爲めの權威を發揮し得る事となる。

（五）

以上數項に亘り農村復興の具体的方法として農民敎育運動に對する愚見を略述した、而して其の間一貫した主張として政治と産業と教育とを打つて一丸とすべきを述べた勤勞努力の奮闘的精神に燃えた個人の完成に立脚し、一つの活圏を對象とした、共勞歡喜の理想境を建設するの道を說いた。斯くて國家の構成分子たる個々の生活の完成により眞の産業立國策が實現せらるゝを暗示した。

顧ふに國家の現狀は決して容易でない、之れを打開し之を作興するは要するに人の問題だ、政治に産業に敎育に志ある憂國の士は徒らに徃來の惰性にとらはるゝ事なく奮然蹶起して救國の聖戰に參加せよ。

冬日

樵夫生

○深霜にしづもり咲ける山茶花のはなはともしく既におとろふ
○ゆふべまで降りやまぬ雨は寒くなりつ山茶花の花粉はおとされ流る
○雨ふりてとにも寒けさは[illegible]おもふ風邪ひきゐる身をいたはりにけり
○あらみたま葬る寡に經を讀めど涙は出でずひた寒きなり
○死人を家に持つとは思へども人と語るに笑ふことあり

宿命

磐六山人

ゆるされぬ戀の
糸をたぐりつゝ
二人の心は
細々ながら結ばれた
けれど……彼等も
失業の渦に
卷き込まれて
宿命とは云へ
惡魔は地獄より來りて
淋しく招ぐ
親人にゆるされぬ
戀の糸をたぐりつゝ
失業の憂ひと
生活の惱みを
胸にひそめて
その……
一切の惱苦の捨場を
噴火にもとめた。

社會の今日

1・20日
△財産沒收法を發す（明治三）△先帝に大正天皇と諡す（昭和二）△政友、民政兩黨大會開かる△上海で邦人青年と支那人衝突（同七）

○

岬よりうすうすと入日にむかひ、靑色の灯をあぐる燈臺　若山牧水

君を思ひ我心ゆく須磨の朝は、淡路を戀ひて眞白帆のゆく　佐々木信綱

大學語釋

○（德命）共に人の天に受けたるものを云ふ、諟天の明命を顧るとは天の命即ち德を顧て寸時も汚さゞるやう努力するなり。（峻德）峻は大と同じ（自明）自ら努め勵みて明德を具有するを云ふ……

拈華微笑

石炭の値が出て鑛區稅が約半額の滯納。稅務署目をパチクリ
◇
賣り初めの金で電話料の納め初め。と來るだらう郵便局の觀測
◇
匡農事業の濕度計。月末の田租納稅成績
◇
少年就職者の捌けが良からうと高を括る紹介所
◇
イン、フレーフレー景氣

『コケモモ』創刊號豫告

（歌稿募集中）

□愚庵和尙研究　島田忠夫
□萬葉の歌一首　遠山都
□茂吉研究　遠山都、木村螢秋、小泉卓、根岸正穗、兒玉照香、島田忠夫
□赤彥研究　島田忠夫
□短歌欄　市原里川外
□發行　三月號創刊（二月上旬發行）

講談　お蘭陀お蝶

（230）　渡邊默禪作　市施長春畫

表のくゞりは閉まつて而番所の窓に微かにあかく灯がさしてゐたお蝶はその側によつて手の痛くなるほど扉を叩くと番所の陸尺が起きて來て武者窓から誰だと咎め立てた。

『はい、あの私はな、坂本龍馬さまへ急の用事がござんしてわざ〳〵參つた者です、どうぞちよつと遣はしてお呉れやすえ』

お蝶は一生懸命で云つた

『え、坂本さまへ？今頃何の用ぢや、シテ何處から來なすつた』

老人らしい寢呆聲だ

『えゝ、それはな、お目に懸つた上でなければ云はれぬ內所の用どすえ、只お蝶が來たとそう言ふて下さんせ會へばよう解ることぢやにな』

『あゝ解めた、先斗町から來居つたな、いや此の夜更に只一人で押し懸けて來るとはさて〳〵執念深い奴ぢやこんなのが日高川になるのだな、待て〳〵今開けてやる』

とつぱくさと出て來てくぐりをがら〳〵つと開けた

そうして月明りに其の姿をぎよろ〳〵とながめて

『坂本さまなら、ソレ彼所に見える長屋角から五軒目の所に居なさるが暗いから勝手が知れまい、よし〳〵世話序に俺が案內してやらう』

と、先に立つたお蝶は親切な爺さんだと思つた。

『どうも種々と有難うございますこないな夜更けに本當にお氣の毒どすえいな』

『なあに、これも功德の一つ、色の取持は私の道樂でな時々人助けに出雲の神樣の名代をやらかしては尻を持込まれて平向する奴さ、それが有難ければ、コレ今度來る時にお神酒を持つて來て供へて呉れ、よいかな御利益は現金だぞ』

『オホ……お易い御用や乾と持つて來てあげようわい』

『成るたけ量をよくしてな！』

屋敷內の長屋は夢のさなかであつた、門番の爺は五軒目の門先へお蝶を伴つて戶をドン〳〵と叩いた。

『モシ〳〵坂本さまへ、坂本さまへ！』

中では寂然として返辭がなかつた

『大勢さまかえなア』

お蝶は氣遣はしそうに尋ねた

『なあに只つた一人さ、食事の時ほお勝手の方へ行つて召上るし、別に不自由はない、寢るだけのことだ』

『おや淋うかいなア』

お蝶が嬉しさうな面色でも怪しく息を喘ませて手先に心臟の邊を押えてゐた

『坂本龍馬どのッ』

破れるばかりに扉へ拳を喰はして大きく叫んだ

『おゝ誰ぢや？』

中からやつと返辭が聞えた

『アハ……[illegible]めた』

爺はお蝶の顏を見て笑つて

『濟右衛門でござる、今のう急にあなたさまへ面會したいと云ふて御座られた者があるに依つて此段一寸お知らせ申します、お開け下されい』

『何ぢや來客！ハテナ、となたぢや』

『おゝ前の儀は存じ申しませぬ、何でも甲冑を着け馬に誇り大身の槍を小脇にかい込んで郎黨と覺しき軍兵三百餘騎を引き連れた、威風凛然たる大將速か、出會ずんば門を破つて亂入する旨威大高に申されましてござる、お注進〳〵』

『や何と』

ラヂオ

仙臺　JOHK　…二十日…（金曜）…

△前七、〇〇
八、〇〇A　ラヂオ体操
△九、〇〇　氣象
△九、一〇H　料理獻立（牡蠣の卵の花）佐藤つぎ　日用品値段
△一〇、三〇H　家庭あみものの講座（和洋服兼用のちやん〳〵）小原靜惠
△正午A　時報　氣象
△後〇、〇五　管絃樂とチェロ　大阪コンサートオーケストラ
△〇、四〇　ニュース
△二、〇〇A　婦人講座（巴里人の會話の巧みさに就て）森三千代
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△四、二〇A　大相撲春場所…八日目
△五、三五　受驗講座（和文英譯）岡田實磨
△六、〇〇D　（子供の時間）お話（妙國寺詣り）藤田茂
△六、二〇　コドモのシンブン　關屋五十二
△六、二五A　英語講座（初等科）岡倉由三郎
△六、五五　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇　ニュース　氣象　積雪量
△七、三〇K　講演（ナイルデルタの旅）岡山醫大敎授鈴木稔
△八、〇〇A　室內樂（ヴイオリンピアノ二重奏）
△八、三〇A　小唄　唄：春日とよ　三味線：同とよ藤
△八、五〇A　連續浪花節（南山血染の聯隊旗）東家樂燕
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象

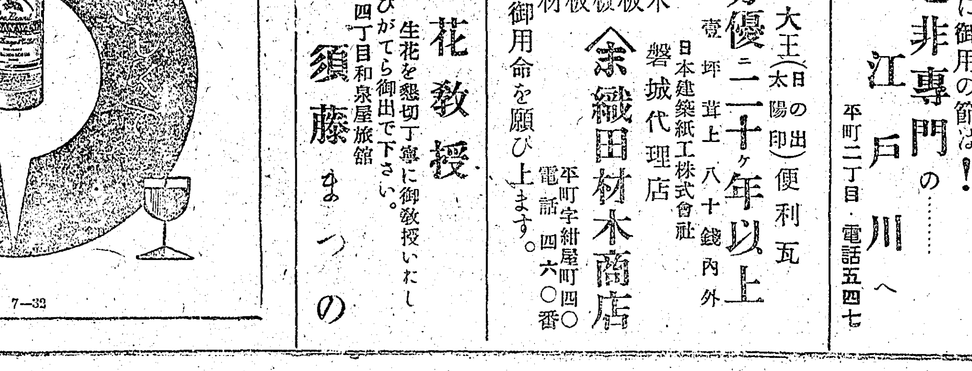
氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話　四八二番
（入院隨意）

吸入用酸素　純度99%
度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　体温器　寒暖計
◎秤ノ取緒・垂糸・換修致シマス
開內藥局　電話四〇番

芳醇銘酒
優等賞入選
白馬の雪
ハクバノユキ
石城酒造組合主催第十三回清酒唎酒會に於て三點とも最優等賞を得たり
平町二丁目一一
白馬の雪營業所
辰の口本家　松本德一
電話（二五四六　二八五五）本店　營業所

診療
胃腸　十二指腸虫病　內科　專門　內科部
梅毒　淋病　膀胱病　婦人病　專門　外科部
松村（胃腸性病）科醫院
（平町南町電一〇七番）

蜂ブドー酒
ハチブドーシユ
おいしく召上つてゐる中にお身体が御丈夫になります



7—32

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

銘木　ベニヤ板　天井板　屋根板　內外木材
精實勉強御用命を願ひ上ます。
日本建築紙工株式會社　磐城代理店
㊀織田材木商店
平町字紺屋町四〇　電話　四六〇番

屋根材の大王（日の出　太陽印）便利瓦
耐久力優に二十ヶ年以上
壹坪　葺上　八十錢內外

人は武士…花は櫻よ　かをりは梅よ……うなぎ料理は江戶川よ
うなぎに御用の節は！
是非專門の……江戶川へ
平町二丁目・電話五四七

御料理　八千代
平町田町　電話三七五番

高久病院
平町田町（電話五一三番）
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽淸
藥劑士　佐竹[illegible]
內科　小兒科　外科　花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科

インフレ景氣の響き

豫想を裏切つて鑛區税半額滯納

販賣の長期契約が祟る

去月末が納期の平税務署管內八年度分試掘採掘鑛區税約四萬圓は炭鑛界の好轉から大部分納入さるゝものと豫想されてゐたに反し販賣の長期契約が祟り單價の釣り上げに伴ふ增收が無かつた爲か約二萬圓の滯納があり大童で督促中であると

賣初め直後とて恐らくは好成績

一萬五千圓の電話料第四期分

去月分市外通話料は明二十日、普通電話料第四期分は今月末日何れも納期となつてゐるが從來滯納の爲通話停止の多かつた普通電話料はインフレ賣初めの直後だけに一萬五千二百十圓（六百八十五人）の巨額なるに拘らず好成績を豫想されてゐる

どう反映する？

匡農事業と國税納期

田租前年第一期、宅地租同第二期、第三種所得税同第三期分は何れも今月が納期となつて居るが田租は過般の水害に因る荒地免租關係から賦課額が確定せず寄々調査中なるも郡下の賦課額は大体田租一九、五〇〇圓宅地租一四、四一二圓、所得税三、四六六圓で之の納附成績如何により一般農村に於る匡農土木事業の潤ひ加減が卜知出來るので當局では其の結果に多大の注意を拂つてゐる

從來と異つて求職は案外樂か

年少希望者のテストを濟ました紹介所のインフレ景氣觀

平職業紹介所の十四聯絡小學校百三十名の就職希望兒童に對する性能檢査は此程一段落を告げたので引續き父兄會を開き夫々適業を選定し來月初旬から就職口を開拓する事となつたがインフレ景氣から至極前途を樂觀しよも昨年の様な就職難はあるまいと所員は語つて居る、尚職業別を見ると大体例年通り男は電氣、鐵工等が多く女は看護婦、電話事務員が大部分を占めてゐる

鮪豐漁の快報

磐城丸からの無電に各濱に活氣湧く

小名濱町水產試驗場指導船磐城丸は鮪漁場調査のため五日千葉縣三崎を出帆し第三航海中であるが十七日午後一時

現在試驗船は北緯四十五度二分の一、百五十四度三十分から歸港の途に就きつゝあるが本航海に於ける最適の漁場は北緯三十四度二十分、百五十五度十八分の海區を中心とした水溫十七、八度前後の處で同區附近は石城郡濱通りの鮪漁場並に千葉縣、三重縣、岩手縣、神奈川縣等の各縣指導船が漁獲中だが何れも一網でトンボ、鮫、メカヂキ、メバチ等百本から六百本前後の漁獲高を上げ近來にない大漁であるの無電あつたので目下鰯大漁で賑つて居る沿一帶は更に一段の活氣を呈し昨十八日何れも之の方面に出動した

愛婦委員區幹部表彰

廿二日記念品有功章の傳達式

愛國婦人會平委員區左記十六氏は日支事變の功勞により今回記念品並に有功章を贈與されたので二十二日午後二時から町會議事堂で之が傳達式を行ふ

△記念品—青沼勢以、山崎キン、清野キヨ、山崎タケ　△有功章—伏見チヨ、伏見彦衞、大橋昌子、中村定子、曾我和嘉子、藤田みゑ、門傳登美乃、水野サタ、三井キミ、酒井寅之助、鈴木丑松、松本充弘

新川惡水豫防組合議員改選

有權者五六二、定員一二 來月五日平町會議事堂で執行

平町外二ヶ村新川惡水豫防組合議員改選は來月四日午前十時から平町會議事堂で行ふが三ヶ町村の有權者及議員數左の如し

町村	有權者	議員
平	二五二	三
內郷	一八六	四
飯野	一二四	五

磐東銀行總會

不況の折柄なるに拘らず終始堅實なる地步を築きつゝある

植田町株式會社磐東銀行では十七日の重役會で二十三日午前九時から第七十四回定時株主總會を開き左記配當案其他を附議する事に內定した

△當期利益金三千七百二十九圓六錢△內法定準備金二百圓△退職給與基金百八十圓△株主配當金千七百七十圓（年二分四厘の割）△後期繰越金千五百七十九圓六錢

舊歳末を喘ぐ人々

共濟事業助成會の調査で八十戸三百餘名と判明

平町共濟事業助成會では窮年末救濟のため此程各町の貧者を調査した結果不具癈疾其他八十戸三百三十三名の外匡救事業其他にアブレが少なく勞働能力を有する者で飢餓線上を歩んで居る者が無い事が判明したが中に氣の毒なのになると久保町某（六六）の如きしがない按摩稼業に細々乍ら家族四名を養つて來たが客臘來神經痛で起居不自由のため稼ぎを止め目下妻某が附近の使ひ走り、洗濯などして糊口を凌いで居る有樣で子供二人は榮養不良の爲半病人となつて居る

香港雜記

在日本人小學校 金澤潤氏（寄）（一）

元平第一小學校訓導たりし氏が親しく國際都市の橫顔を眺めての貴重な寄書である、敢て讀者の爲に一粲を博する。

▲セメント會社の突煙

九龍—此處は英國の租借地で、香港の筋向ひにある。廣いナメ／＼した道路を挾んで空高く技術をこらしたビルデイングが並んでゐる。英國の海外發展政策はそこにも拔目なく表現されて立派な市街が建設されてゐる。その右端に大きいセメント會社の煙突が二本突立つてゐる。つい先達迄白煙をもう／＼と立てゝめづらしくも上氣げんであつた。

だが最近その白煙がほそぼそと幽靈の樣にかげがすくなつた。

そこで屋上から眺め乍ら自分はやつぱり駄目だなあと思つた。

なぜなら香港に於て日本のセメントに競爭出來る外國品はないのであつて、いくら英國企業家が排日ボイコットの好機をキャッチし。すかさず勞働者總動員をやつても値段が高くて需要家たる支那人はやりきれない。

上海事件と抗日會との激情に卷き込まれて高い外國セメントを使つても見たがソロバンが何としても合はぬ、由來利己主義論の多い支那人、コソリ／＼と日本のセメントを使用する。それにつれて九龍セメント會社の白煙は淋しくなつてくる、いはゞ日貨排斥のバロメーターといふわけである

海老島技師

突如辭表を提出

着實な技術者として大に將來の活躍を期待されて居た平水道部工務課長海老島技師は此程突如青沼町長の許に辭表を提出して僚友を驚かしたが廳內一部の惡氣流に厭氣がさした結果ではないかと覩られてゐる

平通ひ當時の彼ら

星野二郎と西牧カツエ

昨報—全農・川支部常任書記星野二郎（二六）同情婦湯本町西牧カツエ（三三）の兩名は共產黨の總檢擧に會ひ西牧は間もなく釋放され目下謹愼中であるが星野は磐中在學當時は頗る弱氣のあつた柔道選手で學業も良く京都三高時代に或る問題で退學され左傾に轉向したもの又西牧も磐女在學當時は中以上の成績で温和なテニスの選手であつた

養蠶改良發明

常に養蠶改善に努力しつゝある久之濱町大字末續字岸內五三鯨岡恒雄氏（三七）は一昨春來苦心研究の結果蠶座の乾燥と蠶病の防止上有效なる水酸化カルシユーム撒布器と石灰紙を發明目下其筋に特許出願中であると

磐中寒稽古

成績頗る良好

磐中の寒稽古はこの寒さにも怯げず出席率頗る良く八日目である今十九日迄の皆勤者は計三百三十四名、欠席二十五名に過ぎず平商其他選手を招いて來月一日盛大に納會を擧行すると

磐中人國記 三六

赤井嶽男記

第五回生の卷 C

◇問題兒に表面化

校長室に呼ばれた古川、小野兩君は如何にも男らしく荒木教諭彈劾の指導統制者たる事を認めた。滑稽行列の發端は常に清新と珍奇とを好む若い學徒の創意として稚氣寧ろ愛すべきものあるが斯うなつては植竹校長たるもの、當人達の學才と純情とは之を認むるも將來之を再びせぬ證明の根據を有たぬ限り、大事な軍將馬稷を斬つた諸葛孔亮の苦衷に泣かねばならなかつた

◇新舊混線の會議

一日之れが斷罪の職員會議は開かれた。

ヅボンの膝かしらを殆ど強直狀態にし、朴齒の足駄を穿いて二丁目橫町へ饅頭買ひに行くにも、所謂天下の正道を履む信念から、白將を拔き乍ら道の眞ん中を行つて曲り角では斷然直角に曲ると云ふ几帳面振りに威風全校を壓してゐた松岡太愿老教諭をはじめ當時夙くも誇るべき令聞をして地方では絕對に見られぬ女だてらの洋服姿に超尖端的のベタ・ハーフ振りを發揮させて月夜茸以上に周圍をアテて居た亞米利加歸りの粋輕、町田、神戸教諭其他等々。新舊カクテルの會議は擬すること此際一等を減じて原級に止める事を以てした

◇自ら揚土を去る

兩人の保證人は古川氏の叔父で根がネチクチ嫌ひの故菅波角之助氏（大浦村出身、元千葉縣市川町帝國酒造專務で商工省保險事務官菅波稱事氏の岳父また白井元代議士の義弟に當る）である、當人達また开膝事で原級に止る事を屑しとせず螢雪四年の追憶を捨て敢然として揚土の校門を辭する事になつた

◇綵雲覆雨の級友

最後迄別方面に甦生の途を辿るべく華々しい征途に上るやうな兩人の空想は、その平町を去らんとする當日一人の見送り人無く双影悄然として出發せねばならぬ事によつて根本から裏切られた。卽ち曾ては淋漓たる燕趙悲歌の慷慨悲憤振りにお互肩を聳かした級友の餘りにも賴り無い綵雲覆雨の態度は兩君をして慨然『將來今迄の級友とは斷然遊ぶまい』と云ふ決意をなさしめたのであつた。

◇笈を負ふて上京

磐中退去直後關成中學に入つた小野氏と相往復して交情更に密の如く、駒込千駄木町なる白井家の玄關子として京北中學に通つた古川氏の文士的生活は日常接する中澤彦吉、近藤利兵衞五郎、十郎諸氏其他一門の文藻豐な空氣中に在つて根岸のへちま庵を訪ねるやら田端に展墓するやら大に子規崇拜のメートルを昂げたりしたもんだ、氏の政界實業界進出は當時深く遠平翁の風格に私淑した結果に外ならない。

他選手を招いて來月一日盛大に納會を擧行すると

親和會役員

平町役場吏員より成る親和會役員は今十九日合議の結果左の如く決定した

會長青沼銖太郎、同副酒井寅之助、幹事須藤鶴之助、江尻幸平、會計西野源次郎、評議員海老島定吉、佐藤伊太郎、伊坂道雄、神長倉春造、四家久米治

煙草代を貯めて貧困者を賑はす

安藤木炭店主の美擧

平町仲町木炭商安藤金治氏は今十九日町役場へ貧者救濟のため木炭八十俵及び現金二十圓を寄附したが同人は昨年一月から好きな莨を止め之を貯蓄したもので寄附の木炭は無料で夫々各戸へ配る筈である

職工見習二名募集

年齡十六歳迄。平町居住者に限る、希望者履歷書携帶來談あれ。

磐城新聞社

郡下。。。教員醵金　本縣師範學校では來十月の六十週年記念としてプールを建設するので郡下在住卒業生三百六十二名は各々月給の百分の二を醵出すると

蒟蒻。。。。栽培講習　錦村農會で二十一日開く

澤渡。。。。農事傳習會　二十五日午後一時から村役場で開催

放蕩。。　福島市本町生れ勝太郎長男鈴木米太郎（三二）は若い內から放蕩に身を持ち崩し六年前貯溜金五十圓を持出して情婦と水戸市上市に住んで居たが二年前女に逃げられた上性病の爲働く事が出來ず市役所の世話を受けて最近全治したので歸鄕の途中昨十八日平町役場に出頭川前迄の旅費を貰つて出發した

。。隔離　高久村上高久馬上久左エ門（五二）は昨十八日腸チブスと決定隔離された

。。檢眼　平第一小學校では今十九日午前十時から星校醫によつてトラホーム檢診を行つた

平町慶弔錄

△出生

古鍛冶町一二 藤澤正夫 二女じゆん子

二丁目五三 東京市荒川區尾久町二丁目七八 吉成喜一郎 三男丹昭

北目町六七 東京市王子區岩淵町一丁目六四 大谷武男 四女ユウ子

舊十二月廿五日 金曜 丙戌 赤口 牛宿 新一月二十日

諸判定應需 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神□館

▲一白の人 み込みたる事も中途にして行違を生じ易し▲二黑の人 表面の景氣に驅らるゝ時はぬか喜びに終る日▲三碧の人 心平靜なる時は運氣刻々と良好に向ふの日▲四綠の人 努力は萬福の基辛抱强きは末に至り勝を占▲五黃の人 じ儉心を去り大小となく目上に從ふて吉し▲六白の人 引込み思案を起さず氣を勵まし進むが勝利▲七赤の人 吉日なれども油斷すれば秩序次第に亂れん▲八白の人 內輪より事の敗れを生ずることある日注意▲九紫の人 物に倦まさる時は大吉の日となる但旅行凶

廣告

平町六丁目 木村醫院 電話三〇九番

市原病院 院長 市原卯太郎 平町田町電一一四

安齋外科醫院 平町田町 電四七五番

前田醫院 院長 前田清美 植田町電話一二四

嚴冬の征服者 福祿ストーブ 戸毎に福祿！四海は常春！！

電話三七番へ —カタログ御申越下さい早速持參致します 福祿ストーブ福島縣一手販賣 阿部石炭商店 平停車場前

内臓外科 整形外科 泌尿器科 外科 產婦人科 醫學士 内木宗八 平町新川町十九番地 木村病院 電話一六四番

十日 体温計の檢査日です 檢査機新設 お宅の体温計は？ 正確な体温計を御利用下さい…… 每月十日の檢査日を御利用下さい 度量計 計量器 指定販賣所 西村屋藥局 電三番

お醬油は……ヤマフル 味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品 鹽屋 山崎合名會社 福島縣平町 電話（營業部一〇番 本店二七番） 明治生命磐城代理店 山崎與三郎

御贈答に！ 記念品に！！ 諸景品に！！ 漆器を!!! 專門の㊒は 誠實勉强 親切第一 在庫豐富 ドコヨリモ、ヨイシナヲ、ドコヨリモ ヤスクウル、ヌリモノミセ 平町三丁目（元郵便局裏通り） 各國產漆器 專門卸小賣 ㊒漆器店 店員募集 十三四才位、小店員 三十才位迄、外交員

吉田眼科病院 平町紺屋町